

ニュースリリース

2018年5月30日
株式会社ジャパントイムズ

脱日本語思考で話す力がみるみるアップ！

『いきなり英語スピーキング 日本語で考えないイラスト反射特訓』発売



株式会社ジャパントイムズ（本社：東京都港区、代表取締役社長：堤丈晴）は、『いきなり英語スピーキング 日本語で考えないイラスト反射特訓』を出版しました。

「中学生のころからずっと英語を勉強してきたけど思いどおりに英語を話せない。」本書はそんな多くの方の悩みを解決する英語スピーキングカアップ書籍です。

日本人は英語を話そうとしても、つい日本語が頭に浮かびます。そのため、頭のなかで日本語を先に考えて英語に翻訳するという作業をしがちです。これが、いつまでたっても英語が話せない人のパターンなのです。

英語を話せるようになるための解決策、それは「英語ネイティブのように、英語で考えて英語を話す」というもの。これを実現するメソッドが、本書で採用している「イラスト反射特訓」です。「イラストを見る」→「いきなり英語で考える」→「アウトプットする」というプロセスで、日本語を介在させることなく、英語を話す回路をつくります。

これまでの勉強法で挫折した方や、英検をはじめとする4技能型試験でスピーキング対策にお困りの方などに、ぜひおすすめしたい1冊です。

【目次】

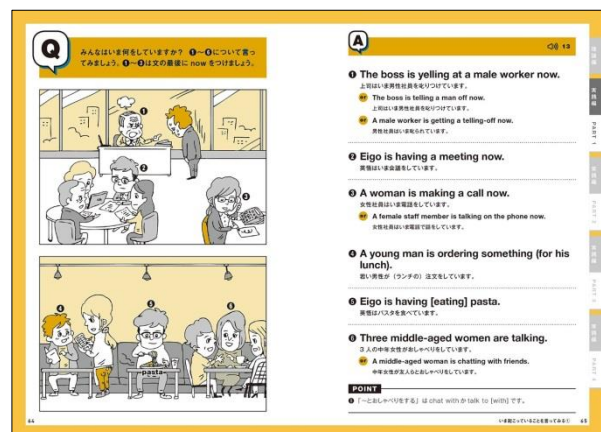
理論編 あなたの日本語脳を英語脳に切り替える

実践編 PART 1 いきなり英語で話す基礎トレーニング

実践編 PART 2 情報を足して、豊かな表現をいきなり英語で話すトレーニング

実践編 PART 3 複雑な状況をいきなり英語で話すトレーニング

実践編 PART 4 ふしぎな昔ばなしをいきなり英語で語るトレーニング



あなたが英語を話せないホントの理由

英語を話したい！でも、話せない……

本書を手取った人はみな、「もし英語がスラスラ話せたらどんなに気分がいいだろう」「どんなにかっこいいだろう」「どんなにまわりの人の羨望がわくわくするだろう」と思っているでしょう。英語が話せる自分、いま自分とはまったく違う存在です。

また、「英語が話せないと職場で困る」。だって自分の部署に今度外国人の上長が配属になって、英語を話さないとどうも必要になってしまったんです」といっている人もいます。自分には、職場の昇進の機会まで「英語が」を条件として上げなければならぬ人や、大学に入るためにスピーキング試験のある英検[®]やTOEFL、TEAPなどを受験しなければならぬ人もいます。

なぜ英語を話せないのか？

そんなみなさんに答えたいのは、そもそも「なぜあなたは英語が話せていないのか？」という質問です。これは実は外国人が自然に持つ疑問でもあります。

中学1年から（いまは小学生からですが）英語はじめて、大学卒業まで、1年のプランクもなく10年間以上も英語を勉強してきたのに、まるで英語を話せないなんてどうしてですか、そう思いませんか？「私は英語まで4時間ずつ、かがはず車の運転を学習してきて

した、でも10年たったいま、まだ車まで運転できません」と言う人がいたら、あなたはその人の精神状態をまず疑うでしょう。

「いや、日本人はシャイですから」と言う人がいます。日本人がシャイなのは事実でしょう。そしてシャイな人は会話で失敗して、話すよりは聞き手にまわることが多いのも事実です。

しかしそのシャイな人も、毎朝朝の日本語話から日常会話に変遷がない程度には話せているんです。ですから、シャイであることは、多少の影響はあると思いますが、日本人がまるで英語を話せられないことの大きな原因だとは思えません。

真の原因は何でしょうか？私はその答えを知っています。

それは、「いままで受けた英語の授業で、英語を話すと教えるもろっていない」からです。

特に30代以上の人にそれがあてはまります。教わっていないことを覚悟できるのはごく一部の天才だけです。たいていの人には、教科を教えるもろっていないインプットを積み重ねてやってみる必要があります。

すると、謎は「なぜ英語を話さずことを学校で教えたもろっていないのか？」に発展します。

大学入試の影響

大きな原因の1つは、中学から大学まで、学校の英語科の多くが、いままで英語を話さずことばを覚えてきたこととです。それにはいくつか理由があります。1つは、英語の先生も、自分が生徒や学生だったときに「話す技術もろくなく聞き取れない英語」を教わられてきた、

3つのイラストの内容を順番に読んでみましょう。イラスト内やイラストの上にある単語も使ってください。

Q

1 I am going to lose 5 kilos in two months.

2 Later that day,

3 Half an hour later,

A

1 Ed was jogging with Amy in the city, telling her that he was going to lose 5 kilos in two months. Amy was thinking about how she was going to lose weight and how she was going to lose it.

POINT

「(目標) 5キロ」は、5 kilos (「キローグラム」と書きます。was going toは「〜しよう」と書きます。loseは「失くす」と書きます。

2 Later that day, in front of the entrance to their house, Ed was thinking of eating a big steak, while Amy was stretching next to him.

POINT

next to Edは「Edのそばで」、「Edの横で」を意味します。EdはEdと書きます。stretchは「伸ばす」と書きます。whileは「〜しながら」と書きます。

3 Half an hour later, Ed and Amy were in a hamburger restaurant. He was biting into a huge double-cheeseburger, and she was thinking of him gaining a lot of weight.

POINT

Half an hourの時間は、授業の予備と次の授業の準備が中心で、Half an hour「半分」の時間なので「半分」は half weightです。

■商品概要■

商品名：『いきなり英語スピーキング 日本語で考えないイラスト反射特訓』

著者：安武内 ひろし (あぶない ひろし)

仕様：四六判・並製・208 ページ・CD1 枚 & MP3 音声無料ダウンロードつき

定価：1,728 円 (税込)

ISBN: 978-4-7890-1690-2

出版社：ジャパントイムズ

発行日：2018 年 6 月 5 日

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社 ジャパントイムズ

<商品に関する問い合わせ>

出版営業部 (大野)

hiroyuki.ohno@japantimes.co.jp

TEL: 03-3453-2013

<プレス関係の問い合わせ>

経営推進部 (佐々木)

pr@japantimes.co.jp

TEL: 03-3453-5312 (代)

◆株式会社ジャパントイムズについて

ジャパントイムズは日本で最も歴史のある英字新聞社として、1897年の創業以来、日本と世界の英文ニュースを国内外に発信しています。「世界に開く日本の窓」としての役割を果たすべく、政治、経済、文化、社会、そしてスポーツ記事を通じ日本の現状と世界の動向を報道してきました。世界中の人が利用する The Japan Times website (www.japantimes.co.jp/) は、国内最大級の英文ニュースサイトとして多様で独自性のあるコンテンツを揃えています。